

NEWS RELEASE

関西国際空港株式会社

経営戦略室広報 G

TEL : 0724-55-2201

FAX : 0724-55-2052



2005年（平成17年）1月26日

2005年度の着陸料割引制度について

来年度（2005年度）の国際線・国内線の着陸料について、新たな割引制度を導入することと致しましたので、お知らせします。（詳細は別紙をご参照ください）

これらの割引制度により、国際線については過去最高を記録した今年度からの更なる拡大を、国内線については来年度からの大阪国際空港の新しい運用ルール開始を契機とした復便を目指します。

増便によって際内乗り継ぎ利便性が高まり、ますます便利になる関西国際空港を是非ご利用ください。

お問い合わせ先
関西国際空港株式会社 経営戦略室
経営管理グループ
TEL : 0724-55-2115



ホームページ <http://www.kansai-airport.or.jp>

各制度の概要

【国際線着陸料】

着陸料引下げ（トンあたり210円の引下げ）の継続

関空の国際競争力強化のため、2001年度から引き続いて、来年度も更に一年間、国際線着陸料をトンあたり2,090円に据え置くことと致します。

期 間：2005年4月1日～2006年3月31日（1年間）

「時間帯別増量割引」の導入

ピーク時間帯の混雑緩和と、オフピーク時間帯の増便を促すため、本年度導入致しました増量割引を一部見直し、時間帯別の増量割引制度と致します。また、航空会社の中期的路線計画に反映して頂けるように3年間の割引制度と致します。

期 間：2005年3月27日～2008年3月27日（3年間）

【国内線着陸料】

現行割引制度（多頻度・関空単独・小型機）の継続

本年度に導入致しました多頻度割引、関空単独路線割引は航空会社からも評価を頂いており、今般の大阪国際空港の運用見直しにより、増便へのより一層のインセンティブ効果が期待できることから、期間を3年間延長致します。また、小型機運航による国内線ネットワークの拡充を図る観点から、小型機割引についても同様に期間延長致します。

期 間：2005年4月1日～2008年3月31日（3年間）

「関空復便割引」の導入

大阪国際空港の運用見直しによって削減される便のスムーズな関空への移転、及び関西圏全体の航空需要に適切に対応する増便を促進するため、現行割引制度に加えて、増量割引を基本とする新たな割引制度を導入致します。

期 間：2005年4月1日～2008年3月31日（3年間）

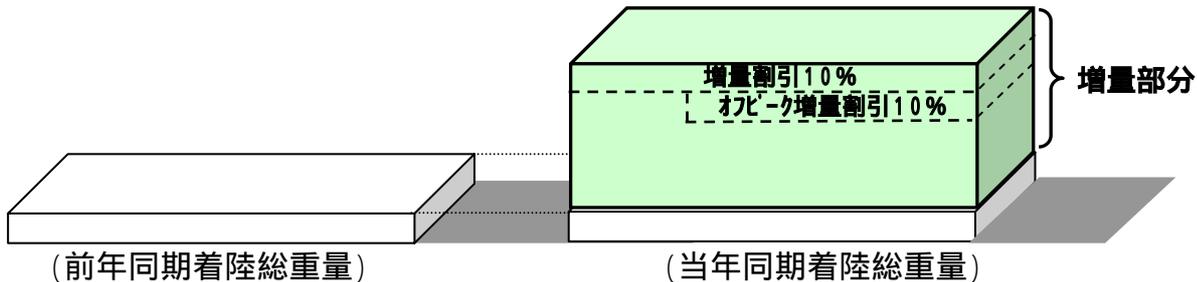
国際線着陸料営業割引(時間帯別増量割引)

A. 国際線増量割引('05.3.27 ~ '08.3.27)

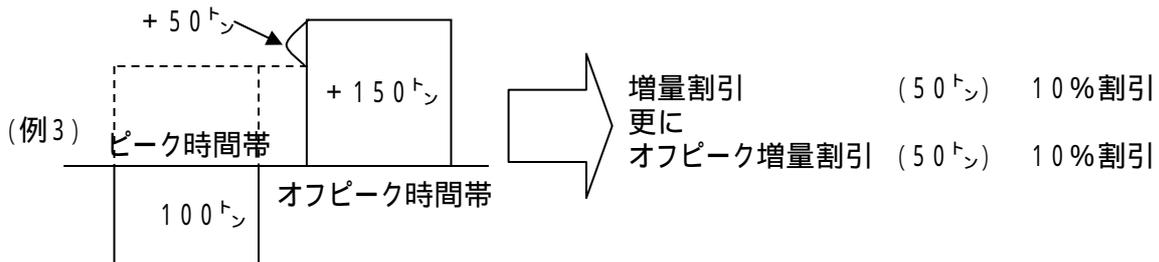
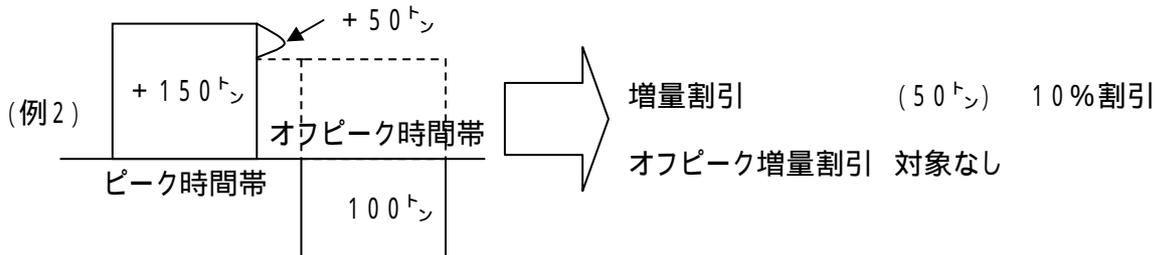
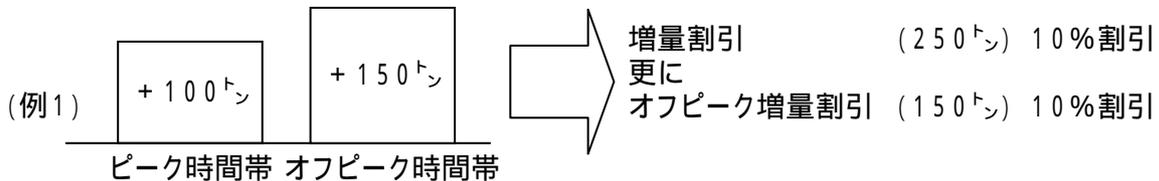
夏冬各スケジュール期間における1航空会社あたりの着陸重量の総重量が、前年同期比で増量された場合に、増量部分に対して10%の割引を実施します。

B. 国際線オフピーク増量割引('05.3.27 ~ '08.3.27)

夏冬各スケジュール期間における1航空会社あたりのオフピーク時間帯の着陸重量の総重量が前年同期比で増量された場合に、増量部分に対して更に10%の割引を実施します。
(ただし、同時期のピーク時間帯に減量がある場合は、その減量分を差し引きます)

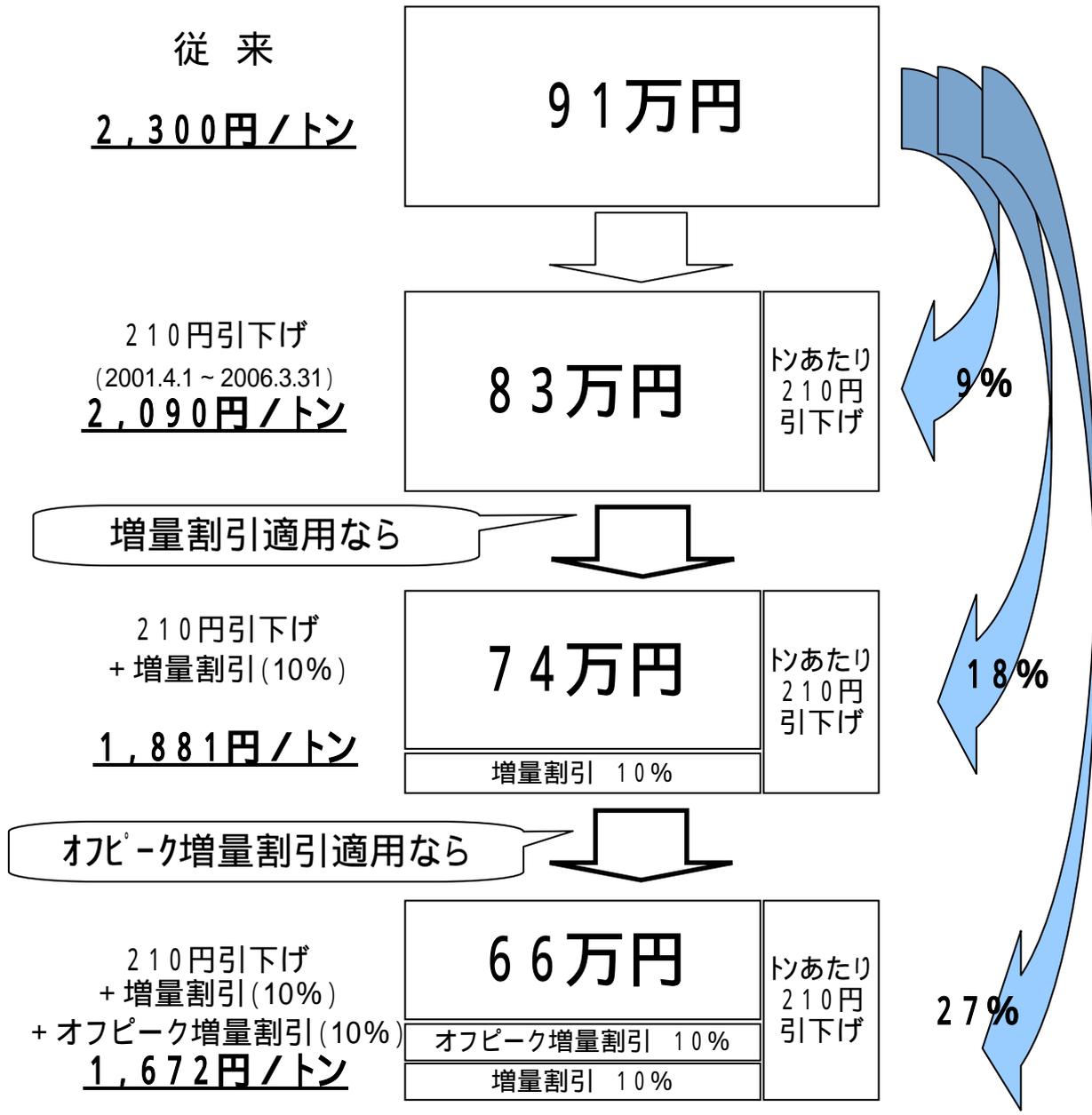


- * 前年同期と期間日数の異なる場合は適宜補正を行います。
- * 2005年夏・冬スケジュール期間はピーク時間帯を午前9時00分から午後1時59分の着陸と定義し、これ以外の時間帯での着陸をオフピーク増量割引の対象と致します。
- * ピーク時間帯は、空港容量と混雑度合いを総合的に考慮し、毎年見直しを致します。
- * 本割引制度は国際定期便のみを対象と致します。



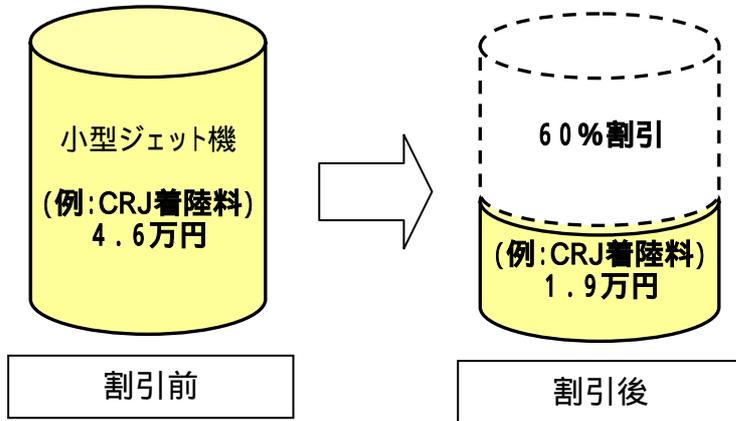
着陸総重量が前年同期を上回らない場合、いずれの割引も適用となりません。

《参考:ジャンボ機 着陸1回あたり着陸料》
 (2005年夏冬スケジュール・国際線)



国内線小型機割引(~ '08.3.31)

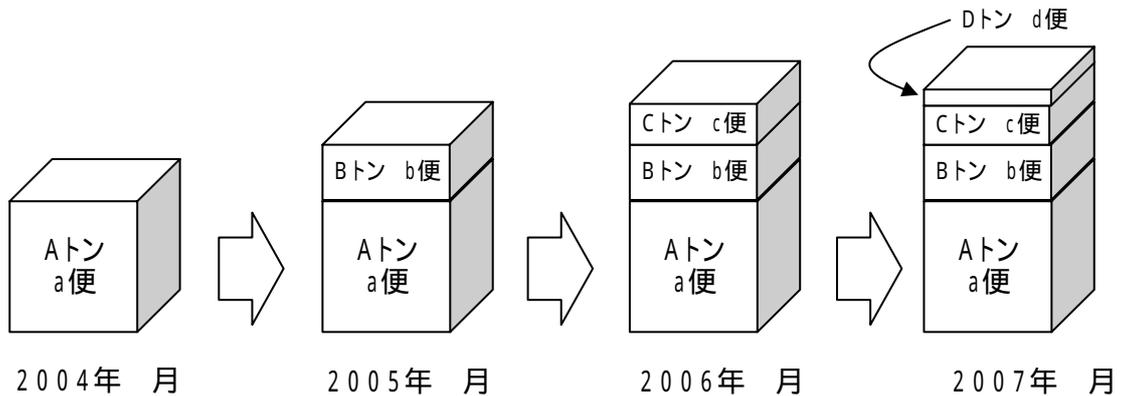
国内航空運送事業者の、提供座席数が100席以下かつ最大離陸重量50トン以下の小型ジェット機に適用します。



(注) CRJとは、CRJ-100・CRJ-200(最大離陸重量24トン)を示す。

国内線関空復便割引(~ '08.3.31)

- ・グループ会社毎に前年度からの増量分に対し、割引率50%+1便/1日就航毎にさらに1%のプレミアムをつけて、2007年度末まで最大3年間割引きます。
- ・既存の多頻度割引、単独路線割引との併用も可能です。



(関空復便割引の割引額)

$B \times (50\% + b\%)$	$B \times (50\% + b\%)$ $+ C \times (50\% + c\%)$	$B \times (50\% + b\%)$ $+ C \times (50\% + c\%)$ $+ D \times (50\% + d\%)$
×	×	×
着陸料単価	着陸料単価	着陸料単価